

令和5年度 第3学年

# 第1回進路説明会

令和5年4月 28日

## 進路資料

3年\_\_組\_\_席 名前\_\_\_\_\_

三重大学教育学部附属中学校

## 第3学年 進路資料 目次

進路選択にあたって	1
進学について①学校の種類	2
進学について②選抜の種類	3
県立高等学校入学者選抜	4
私立高等学校受験	7
高等専門学校・定時制高等学校・通信制高等学校	8
就職	9
奨学金制度	10
令和5年度進路関係年間予定表	11
〈資料〉	
・令和2年～令和5年度入試：進路先	
・2024年度三重県立高等学校入学者選抜実施方針	
・三重県立高等学校入学者選抜「スポーツ特別枠選抜」について	
・県立高等学校をめざすあなたへ	

\* 受験と受検の違いについて

私立高等学校や高等専門学校等の入学試験を受けることを「受験」、三重県立高等学校入学者選抜（検査）を受けることを「受検」と表記します。

\* 2024年度入試と表記することについて

高等学校側から見ると現中学3年生は2024年度入学にかかる生徒ですので、2024年度入試の該当者となります。一方、中学校側から見ると、現中学3年生は、令和5年度（2023年度）の中学生であるという部分に重きを置きます。

※この資料に記載している日程は、現段階におけるものです。変更になる場合があります。

## 進路選択にあたって

3年生になった生徒のみなさんに、頭の片隅に必ず置いておいてほしいことがあります。それは「進路を自己自身で選択すること」と「進路を決定して卒業すること」です。附属中学校に入学して以降、日々学習に励んできたことと思いますが、将来のことを考えた行動が今求められています。自分の進路は自分で切り拓き、つかみ取っていくものです。人生は旅によくたとえられますが、今後みなさんは中学校という学舎を巢立ち、大空に羽ばたき、次の世界を目指していくことになります。「今の実力で大丈夫なのだろうか」「希望の高校に入れるのだろうか」と、進路に対して不安を抱くときもあるかと思います。しかし、あなたたちの先輩は現実をしっかりと見据え、これらの不安を乗り越えてきました。みなさんもその不安を乗り越える力をもつていると考えています。「進路のことを考えると夜も眠れない」と思うことがあるかもしれません。「もうどこでもいい…」と逃げたくなるかもしれません。しかし、いろんな自分と向き合い、忍耐力をつけ成長することができるチャレンジの1年と考えてください。

そのためにも、多くの情報やアドバイスを得て、自分にとってベストと考えられる「進路」を見出し、来春にはみなさんがたくましく自立し、輝く笑顔で、新たな世界へ旅立ってほしい。わたしたちはそう願っています。  
Where there is a will, there is a way. 「意思あるところに道あり」

「進路」を自己自身のものとしてとらえ、選択・決定していくためには、次の**4つのことがら**が大切です。これらのことについてじっくり取り組んでいってほしいと思っています。それと同時に学校や家庭、地域での生活態度をきっちり正していくことが重要になってきます。

### 1 個性や能力を生かすこと

まず、自己自身を冷静に見つめることができます。保護者・先生・友だちと話し合い、個性や能力の把握に努めましょう。

### 2 自分の将来を考えること

何のために高校に行くのか、高校へ進学後の将来はどうしたいのかといった見通しをもつことが大切です。学校名だけで決めてしまうような、希望や目的意識のない進路選択をすると、後になって後悔することになります。

### 3 十分な話し合いをもつこと

何度も時間をかけて、家庭で話し合うことが大切です。保護者の方の思いもよく聴き、自己自身にとってどの進路が最良なのか考えてみましょう。保護者の方は、人生の指導者として、お子様をよりよい方向に導いていただければと思います。

### 4 進路の情報を十分に活用すること

進学の場合、高等学校や高等専門学校等の学習内容等を十分把握しましょう。また、大学や大学院への進学まで考えている場合、その高等学校等からどんな大学や大学院、専門学校等へ進学できるのかについての、情報も必要になってきます。最近では、体験入学や見学会などを行う学校が増えてきていますので、そのような機会も十分に活用し、自分に合っているかどうか考えましょう。

就職の場合、採用の難しい時期ですが、職業の種類・内容の情報収集が必要です。また、会社見学の機会を利用する等、積極的な参加と自己研究も必要になってきます。

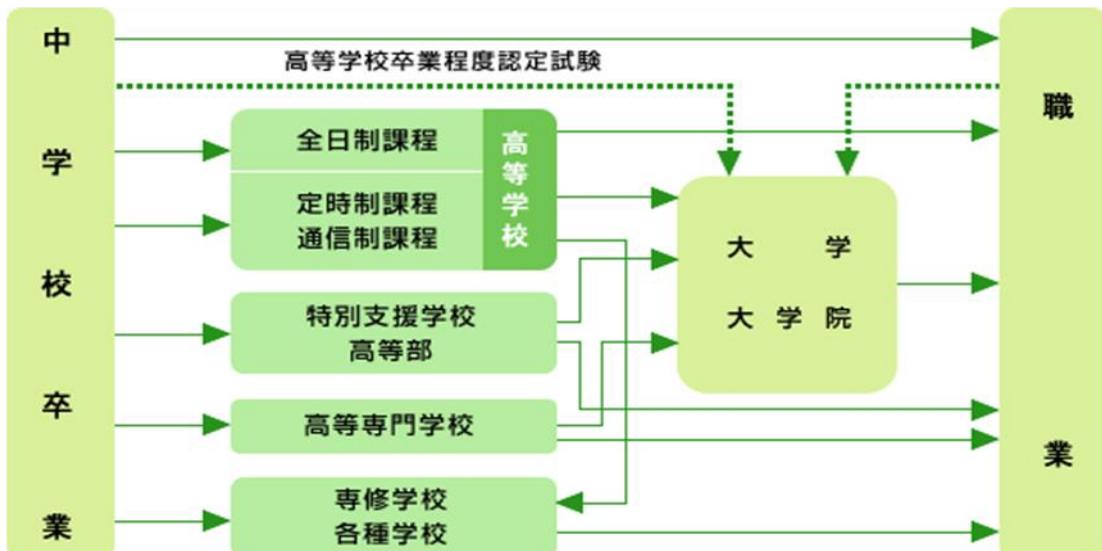
## 進学について

### ①学校の種類

校種	修学年数	学科・コース	学校例
県立高校全日制	3年	普通、理数、英語、工業、商業、農業、デザイン、情報、福祉など	津、津東、津西、久居、上野、松阪、津商、津工、久居農林、神戸など
県立高校定時制 県立高校通信制	3～4年	普通科、商業科、工業科など	みえ夢学園、北星 上野定時制、飯野定時制 松阪通信制など
私立高校	3年	ほとんどが普通科だが、国立大・私立大・就職など卒業後の進路をみすえてコース分けされている。	海星、暁、三重、鈴鹿、高田、皇學館、伊勢学園など
私立高校通信制	3年	普通科	大橋学園
高等専門学校	5年	工業関連学科、商船関連学科	鈴鹿高専、鳥羽商船 私立近大高専など
技能連携校	3年	普通、福祉、調理、整備など	古川学園
専門学校	1～3年	美容科、調理師、服飾	旭美容、三重調理師専門学校
職業訓練校	2年	溶接、板金など	津高等技術学校

このほかにも特別支援学校高等部などがあります

## 進路選択フロー チャート



## ②選抜の種類

- 具体的な進路先の希望が決まったら、どのような方法で受検（受験）するかを考えなければなりません。現時点で予定されている内容を紹介します。（詳細は2学期の進路説明会でお知らせします。）

選抜の種類	選抜内容及び日程など	進路日程
私立国立等 一般受験 (併願) ※高専を含む	<p><u>希望者する高校を何校でも受験できる。</u>            (県立内定、私立等推薦専願合格者を除く。)</p> <p>受験科目 2～5教科(面接、実技)            入試 1月下旬～2月下旬            発表 概ね、入試の1週間後</p>	①三者懇談（12月15, 18, 19日） ②出願（12月下旬～） ③試験 ④合格発表
私立国立等 推薦受験 ※高専を含む	<p><u>校内推薦委員会で推薦を認められたときのみ、1校だけ受験できる。</u></p> <p><b>合格した場合は必ず入学しなければなりません。</b></p> <p>検査内容 面接、自己表現、小論文など            入試 1月下旬～2月上旬            発表 概ね、入試の1週間後</p>	①申し出（11月末） ②校内推薦委員会 ③三者懇談（12月15, 18, 19日） ④出願（1月初旬） ⑤試験 ⑥合格発表
私立専願受験	<p><u>希望する高校を1校のみ専願受験できる。</u></p> <p><b>合格した場合は必ず入学しなければなりません。</b></p> <p>受験科目 面接、小論文            5教科から学力検査、            学校指定内容など            入試 12月～2月            発表 概ね、入試の1週間後</p>	①申し出（11月末） ②三者懇談（12月15, 18, 19日） ③出願 ④試験 ⑤合格発表
県立前期選抜	<p><u>希望者が1校のみ受検できる。</u></p> <p><b>合格した場合は必ず入学しなければなりません。</b></p> <p>事前提出書類 自己推薦書、入学確認書            検査内容 今後各校別に詳細発表予定            検査期日 2月 5日, 6日(月火)            内定発表 2月15日(木)</p>	①申し出（11月末） ②三者懇談（12月15, 18, 19日） ③出願（1月初旬） ④検査（2月5, 6日） ⑤内定発表（2月15日） ⑥合格発表（3月18日）
県立後期選抜	<p><u>希望者が1校のみ受検できる。</u></p> <p>(県立内定、私立等推薦専願合格者を除く。)</p> <p>検査内容 国・社・数・英・理(面接、実技)            検査期日 3月11日(月)            発表 3月18日(月)</p>	①三者懇談（2月19, 20, 21日） ②出願（2月下旬） ③志願変更可能（一回限り） ④検査（3月11日） ⑤合格発表（3月18日）

- 受検（受験）料は学校によって異なります。（昨年度）

県立高等学校：2,200円（全日制）、950円（定時制）、無料（通信制）収入証紙で納入。

私立高等学校：10,000円～15,000円程度 各自で振り込む（証明書が必要です）。

高等専門学校：15,000円～16,500円程度 各自で振り込む（証明書が必要です）。

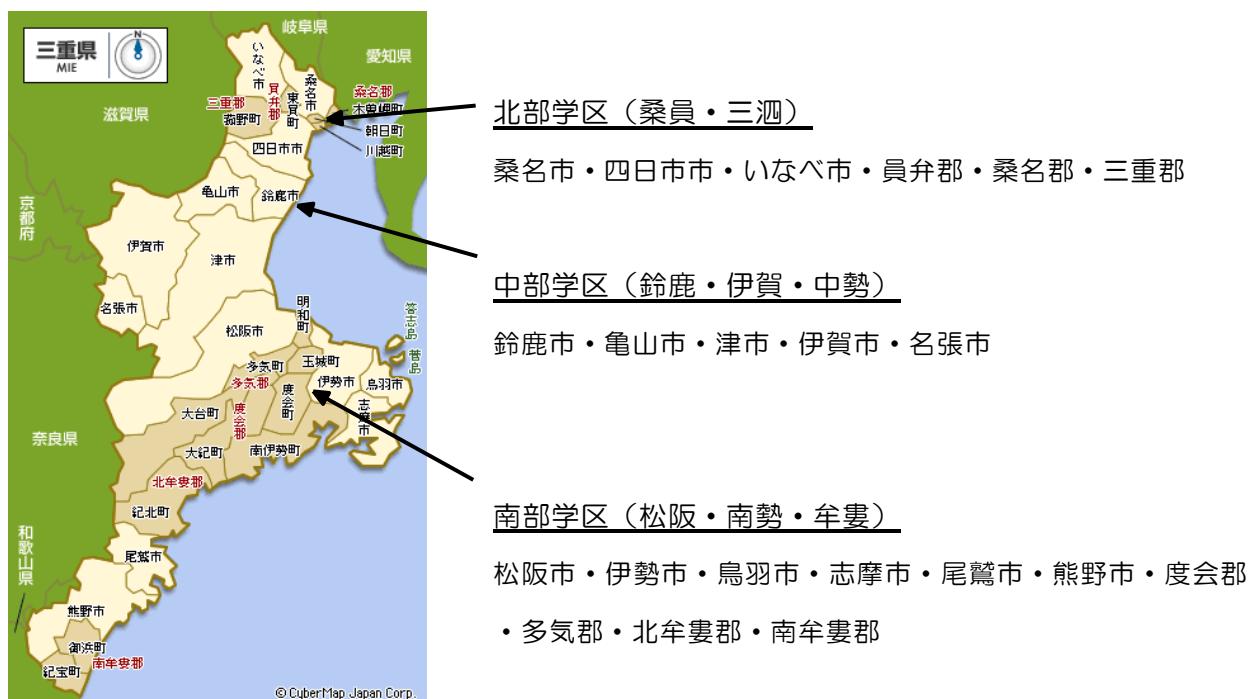
## 県立高等学校

<昨年度の県立高校入学者選抜実施要項より>

### (1) 学区制について

現在、三重県では、普通科(スポーツ科学コースを除く。)と理数科(松阪高等学校理数科を除く。)については、下図のような学区制が採用されています。したがって、普通科や理数科への進学を希望する人は、自分の住む(現在、自分が居住している)学区内の高等学校もしくは隣接する通学区域の高等学校について、入学志願することができます。

一方、三重県内における専門学科(職業系学科・英語科・体育科等)や総合学科については、通学区域にかかわらず、県内のどの高等学校に出願してもよいことになっています。



### (2) 選抜の種類について

三重県の県立高校の入試では、次の6つの方法が実施されています。

- ①前期選抜    ②後期選抜    ③連携型中高一貫教育に係る選抜    ④特別選抜
- ⑤海外帰国生徒・外国人生徒等に係る特別枠入学者選抜    ⑥スポーツ特別枠選抜

### (3) 県外高等学校

三重県外の私立高等学校等への進学を希望する場合には、保護者の責任のもとに入試要項をとり寄せて、各クラス担任の先生と相談するなど、できるだけ早く手続きが取れるようにしておくことが大切です。なお、三重県外の公立高校を希望する場合には、『三重県内に志願する学科を設置する学校がない』などの各都道府県が定める条件を満たしていかなければならないので、早めに各クラス担任の先生と相談するようにしてください。原則、願書の取り寄せ・送付も各ご家庭で行っていただきます。

## **三重県立高等学校入学者選抜方法**

### ○ 前期選抜

前期選抜は、かつては「中学校長の推薦書」を必要とする受検方法でしたが、それが無くなり、自己推薦書と調査書が事前提出書類となりました。

前期選抜は、学科に対する明確な目的意識と適性をもつ生徒を一般の選抜に先駆けて募集し、各高等学校の特色ある活動を充実させることをねらいとしています。したがって、志願者はどの高等学校のどの学科に入学したいかという意志の明確な人に限られます。自己推薦書・調査書の選抜資料の他、面接または「自己表現」・作文・実技・2教科以内の学力検査をもとにした選考によって合否判定が行われます。そのため、今までと比較して、当日の検査が重視されると考えられます。

各学校の「選抜において重視する要件」には、ほとんどの学校が、下記の要件を明記しています。

- ① 当該当学科・コースを志望する目的意識が明確であること。
- ② 当該当学科・コースに対する適正・興味・関心および学習意欲を有すること。
- ③ 生徒会活動、スポーツ・文化に係る部活動、ボランティア活動その他の校内外における自発的な活動が活発であること。

のことから、日常活動の様子をより重視されることになります。普段の学校生活を大切にしてください。また、学力検査が削減されるからという理由だけでの安易な出願は慎んでください。

※したがって、当日の入試だけ頑張っても、合格できないことがあります。日常の学習や、さまざまな活動に、誠意と意欲をもって真剣に取り組んでいくことが大切といえます。とりわけ、最近は、特別活動や部活動、あるいはその他の活動（地域での活動やボランティア活動等）を重視する学校が増加しつつあります。

前期選抜を実施する高等学校には、学科・コースのうち、1つの学科・コースについてしか出願できません。また、合格内定となれば、私立高校も含め、他の学校を受験することはできません。

### ○ 後期選抜

後期選抜は、前期選抜において合格内定となった者以外が出願できます。前期選抜において、内定を得られなかった場合、改めて同じ高校に出願することも可能です。受検料は返却されず、再度納入する必要があります。

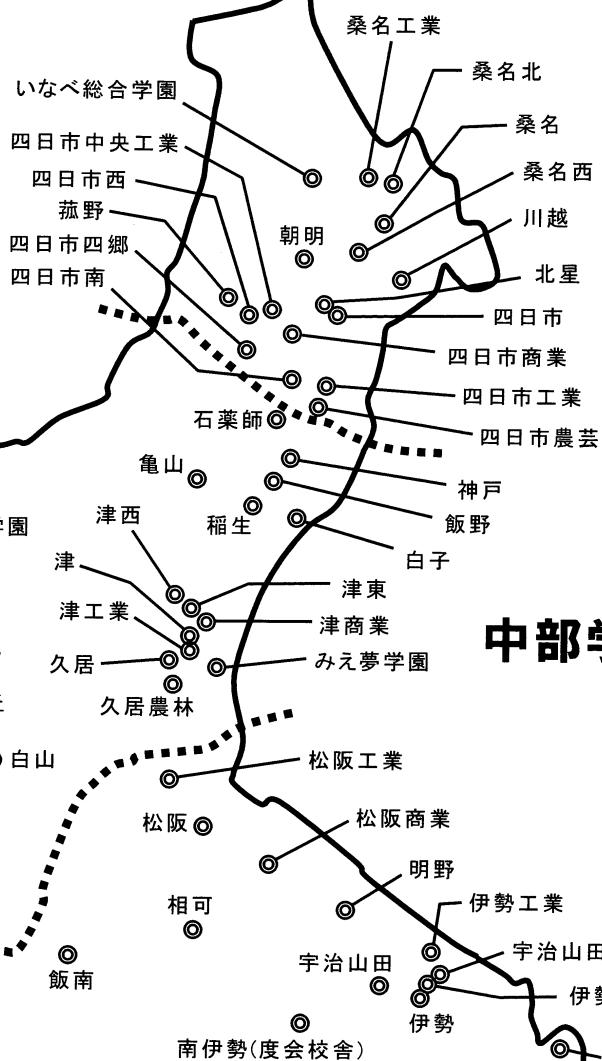
○連携型中高一貫教育に係る選抜は本校生徒には該当しません。

○特別選抜は過年度生の対象選抜方法です。

○海外帰国生徒・外国人生徒等に係る特別枠入学者選抜には、令和5年4月1日現在、帰国後3年以内、外国人生徒には6年以内の入国などの制限がありますので、直接お問い合わせください。

## 三重県立高等学校の所在地

### 北部学区



### 中部学区

### 南部学区



## 私立高等学校

私立高等学校は、県立高等学校とは違い、独特的な教育方針を掲げて、特色ある教育を行っているところが多くあります。宗教関係の高等学校も比較的多く、宗教的精神に基づいた教育を進めています。また、短大や大学を設置している学校もあり、高等学校から大学へ進学しやすいようなシステムを導入しているところもあります。さらに、成績優秀な生徒やスポーツ面で、特に優れた生徒に対して授業料を免除する「特待制度」や、合格したら必ずその高等学校に入学するという約束のもとに、入学を有利に取り扱う「専願制度」を行っている学校もあります。

選抜については、県立高等学校と基本的には同じですが、学力検査が3教科であったり5教科であったりと学校によってまちまちです。その他、面接や作文・英語のリスニング等を実施したり、体験入学を受験の際の条件にしたりする学校もあるので、志願者はよく調べておくことが大切です。選抜時期は1月から2月にかけて行われるのが一般的ですが、推薦または専願については、12月に入学試験が行われるところもあるので、注意が必要です。

現在、県内の私立高校には次のような傾向があります。

### ①大学進学を目指した教育課程の編成とコース制・6年制の編入試験

### ②推薦制度の充実（専願入試という私立独自のスタイル）

推薦制度には、成績基準を設けたり、推薦入試と一般入試が同じ日程で実施される場合もあります。

受験方法は大きく分けて以下の3通りになります。

## I 併願受験（一般受験）

所定の願書などを高校へ提出すれば何校でも受験できます。合格しても必ず入学する必要はありません。いくつかの私立高校に合格した場合、合格した中から1校選んで入学手続きをします。合格したすべての高校に手続きする必要はありません。

## 2 専願受験

併願受験に「合格した場合は必ず入学する」という約束をしたうえで、受験します。他の私立高校も受験できますが、専願受験する高校は1つに限られ、合格した場合は必ず入学しなければなりません。もし他の高校を併願受験して合格した場合も、併願校は辞退しなければなりません。

## 3 推薦受験

専願受験に「学校長の推薦を必要とする」という条件が加わります。推薦受験できる高校は1つに限られ、他校の推薦受験や専願受験と兼ねることはできません。

## 高等専門学校

社会各分野における、専門技術者としての高い能力を身につけさせることを目的としているため、専門科目や実験・実習等の授業がかなり多く、実技面での学習は充実しています。高等専門学校(高専)の修業年限は5年ですが、大学進学を希望する人は、5年修了後、大学3年に編入学したり、第3学年を修了した段階で大学を受験したりすることも可能です。また、専攻科(2年)に進学することも可能で、「学士」の学位をとることもできます。商船高等専門学校の商船学科は、在学中に船舶実習があるために、修業年限が5年6ヶ月であり、その性格上、団体訓練や共同生活等をかなり重視しているようです。三重県内には、国立鈴鹿工業高等専門学校・国立鳥羽商船高等専門学校、私立近畿大学工業高等専門学校があります。

私立高校の推薦受験と同じ手順で、推薦受験には、成績の条件が付加されることがあります。

## 定時制高等学校・通信制高等学校

働きながら高等学校の勉強をしたい人のために設置されているのが定時制高等学校ですが、働いてきた後の時間を学習の時間に当てるのですから、いいかげんな気持では続けられないでしょう。強い信念と決心が必要です。夜間定時制高等学校の場合、授業は午後5時30分頃から9時頃まで一日4時間行います。夏休みや冬休みは、一般的の高等学校(全日制)と同じですが、4年間の学校生活を送ることになります。ただし、昼間部の授業も受けることで、3年間で卒業することも可能です。昼間働いて、夕方学校に通うのですから、勤め先と自宅との関係をさまざまな面から考慮して、通学に便利な学校を選ぶ必要があります。夜間部だけでなく、昼間定時制や、昼間部総合学科等を開設している学校もあります。また、定時制高等学校に通えない人のために、月2回程度のスクーリング以外は自宅でレポート学習を行う通信制高等学校(県立は、北星高等学校、松阪高等学校の2校、私立は大橋学園高等学校、一志学園高等学校など)もあります。

## 専門学校

一般にいう専門学校は、その設置基準や課程・内容によって「各種学校」と「専修学校」に分けられます。各種学校とは、職業技能や一般教養を身につけるために、学校教育に似た教育を行なっているところをいいます。技術教育が中心で種類が多く、年令制限がほとんどなく、修業年限も比較的短いのが特徴です。内容としては、洋裁・和裁・経理・コンピューターなどさまざまです。

専修学校とは、専修学校設置基準にもとづいて運営されている学校をいい、高等学校卒業者を対象とする専門課程と中学校卒業者を対象とする高等課程、さらに入学資格を問わない一般課程の3つに分かれます。分野としては、商業実務・医療衛生・社会福祉・文化教養・家政経済などがあります。専門課程をもつ専修学校の多くは、「専門学校」を名のっており、三重県内には調理・洋裁・和裁・理容・美容・看護等の課程をもつ学校があります。また、高等課程をもつ専修学校では、通信制の高校を開設したり、連携したりして、高等学校卒業資格を取得できる学校もあります。(三重県内には、古川学園、英心高校、三重徳風学園等があります。)

## 就職

学校へ進むばかりが進路選択ではなく、自らの力で収入を得て自立の道を歩んだり、家計を支えたりすることも大切なことです。最近は、企業等の方針も実力主義へと変わりつつあり、働きながら学ぶ道も大きく開かれており、本人のやる気次第です。就職するには、職業適性検査等により自分に適する職域を考え、公共職業安定所からの求人一覧表や職業相談、会社見学などにより、公共職業安定所を通して決定します。中学校卒業者は未成年であり、就職については、本人と保護者、および公共職業安定所の三者がよく相談して決めます。会社によっては、社員養成施設や学校・研修所を設置しているところもあります。

**トヨタ工業学園** [所在地] 〒470-0344 愛知県豊田市保見町井ノ向 57-28 トヨタスポーツセンター内

企業内訓練校の利点を最大限に生かし、3年間で全教育の約 40%の技能教育を行っています。自動車に関わる8つの専攻科に分かれ、モノづくりの技能を学園での基礎実習と配属予定職場での応用実習で身につけます。また、社会人・企業人としての基礎・基本(生活習慣、心構え、正しいものの見方・考え方、国際理解)を学ぶため、各種訓練行事(合宿、遠泳、登山、マラソン)や文化的行事(トヨタ関連文化施設の見学)及びクラブ活動の総合教育を実施しています。さらに、学園に入学すると同時に通信制の科学技術学園高等学校にも入学します。学校教育法に定める「技能連携制度」により、学園で学習する科目のうち工業科目はそのまま科学技術学園高等学校の単位として認定されます。そのため、3年間で高等学校の卒業資格が取得できます。そして、学習意欲の旺盛な生徒には、豊田工业大学への進学の道も開かれています。

生徒手当の支給により、保護者に負担をかけずに勉強や生活ができる特徴もあります。毎月の生徒手当(1年:約12万)の他、年2回の特別手当(1年:約12万)を支給されます。

企業内訓練校は、他にデンソーアイネン(〒446-8507 愛知県安城市高棚町新道1)などがあります。

## ▷ 奨学金制度 ◁

※昨年度の資料です。

### ① 三重県高等学校等修学奨学金

保護者が三重県内に住所を有し、高等学校等に在学している生徒のうち、勉学意欲があり、経済的理由により修学のための資金を必要とする方に貸与します。

○修学奨学金の種類及び貸与する金額

◎修学費(毎月貸与)

国公立　自宅　月額 8,000 円, 13,000 円, 18,000 円　自宅外　月額 23,000 円

私立　自宅　月額 20,000 円, 25,000 円, 30,000 円　自宅外　月額 35,000 円

◎修学支度費(入学時のみ)

国公立(40,000 円、または 80,000 円)　私立(50,000 円、または 100,000 円)

○修学奨学金の返還

卒業後半年を経過した日から修学費、修学支度費とともに12年以内に、原則月賦・口座引き落としで返還することになります。なお、大学等に進学した場合は、申請によりその卒業まで返還が猶予されます。

〈問い合わせ先〉 三重県教育委員会事務局教育財務課 奨学金担当 TEL 059-224-2944

### ② あしなが奨学金（本年度は受付開始を延期するという連絡がありました。）

〈問い合わせ先〉 あしなが育英会 フリーダイヤル (0120)77-8565 FAX 03-3221-7676

### ③ 交通遺児育英会の奨学金

中学3年生で、高等学校または高等専門学校に進学を希望していて、次に該当する生徒が対象です。

\*保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、教育費に困っている人。

○奨学金の額　国公立および私立の高等学校生・高等専門学校生

月額 20,000 円, 30,000 円, 40,000 円の中から出願者が選択

○出願期限　令和 4 年 8 月 31 日(一次募集〆切)

〈問い合わせ先〉 公益財団法人 交通遺児育英会 奨学課 フリーダイヤル 0120-52-1286

FAX 03-3556-0773

### ④ 似鳥国際奨学財団

・募集期間 2022 年 5 月 20 日(金)まで

・募集要件 15 歳以下で日本国内の中学校の 1 年～3 年に在籍予定かつ、ひとり親家庭の方

・募集人数 100 名(上期・下期合わせて)

・支給期間 2022 年 10 月 - 2023 年 9 月(支給期間中に卒業する人は、卒業月まで)

・支給金額 月額 30,000 円 × 12 ヶ月(合計 360,000) ※返済の必要はありません。

※2023 年 3 月卒業の方は 6 カ月分の支給になります。

【似鳥国際奨学財団 ホームページ】 <https://www.nitori-shougakuaidan.com/>

### ⑤ その他

鈴鹿市の天野奨学金など、市町教委で対応、主催する奨学金制度もありますので、お住まいの市町教委へおたずねください。

## 令和5年度 進路関係 年間予定表

月	学校行事	3年生 生徒関係	保護者関係	備考
4	始業式 4/7 入学式 4/10		進路説明会① 4/28 (修学旅行・進路等)	進路希望調査①
5	修学旅行 5/17～19	中間テスト 5/25・26		
6	教育実習 5/29～6/9	実力テスト① 6/12 期末テスト 6/21～23		
7	三者懇談 終業式 7/20 夏季休業	教育相談・三者懇談	三者懇談 7/13・18・19	進路希望調査②
8	夏季休業	補充学習・職業調べ 上級学校調べ 等		高校入門講座・学校見学会 等
9	始業式 9/1 教育実習 9/4～29 体育祭 9/29	実力テスト② 9/4		
10	文化祭 10/26 附中のハーモニ ー 11/8	中間テスト 10/10・11		進路希望調査③
11		実力テスト③ 11/1 期末テスト 11/21・22・24	進路説明会② 11/10	国立・私立推薦専願希望申し込み 受付 進路希望調査④
12	終業式 12/20 冬季休業	教育相談・三者懇談	三者懇談 12/15・18・19	私立受験・県立前期選抜専門学 校 受験校決定
1	冬季休業 始業式 1/9	実力テスト④ 1/10 学年末テスト 1/17・18 高専推薦入試 私立高校入試 専門学校・就職試験等		面接・作文練習 進路希望調査⑤
2		県立前期選抜 2/5・6 実力テスト⑤ 2/7 私立高校入試 高専入試	三者懇談 2/19・20・21	私立合格発表 県立前期選抜内定発表 2/14 県立後期受験校決定
3	卒業式 3/13	県立後期選抜 3/11		県立高校合格発表 3/18 進路報告及び進路決定

※日程は、あくまでも予定です。変更になる場合がありますので、その都度連絡いたします。

< 資 料 >

## 令和2年度～令和5年度入学生 進路先

学校名	学科・コース名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桑 名	普通				
	理 数	2			1
	衛生看護				
四日市	普通科・国際科学コース	6	1	8	13
	普通	14	14	13	17
四日市西	普通			1	1
	普通科・比較文化・歴史コース				1
四日市工業	機 械			1	
四日市南	普通科・国際科学コース				1
	普通	1			
四日市農芸	食品化学				1
四日市四郷	普通				1
川 越	普通			1	1
神 戸	理 数				
	普通				1
白 子	普通	1	1	3	1
	生活創造科				1
稻 生	普通			1	
	体育科		1		
飯 野	応用デザイン		4	1	
亀 山	普通			2	
津	普通	37	48	31	31
津 西	国際科学	3	3	7	6
	普通	13	21	7	17
津 東	普通	7	8	11	4
津商業	情報システム		1	1	3
	ビジネス	1		2	
津工業	機 械	1		1	
	電 気			1	
久 居	普通	1	2		1
久居農林	生物資源	1			
	環境情報	1		1	1
みえ夢学園	総 合				
松 阪	普通	1	7	2	1
	理 数	1	1		
	通信制 普通	1			
松阪工業	自動車				1
松阪商業	国際ビジネス				1
相 可	食物調理		1		
昴学園	総合学科		1		
みえ夢学園	総合学科			1	
伊 勢	普通				1
	普通科・国際科学コース				

学校名	学科・コース名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
県内 私立	暁	Ⅱ類進学		1	1
		I類			
	海星	国際数理コース			1
		進学特別コース	1		
	メリノール	進学コース	1	1	2
		普通		1	
	大橋学園	普通	2	1	
	セントヨゼフ	普通	1		1
	鈴鹿	総合	3	1	1
		探求	2	1	1
		特進	2		1
	高田	I類	3	7	2
		Ⅱ類進学	10	3	5
		Ⅱ類特選	3	8	1
	三重	進学		1	1
		進学選抜	1		1
		特進	1		1
	皇学館	普通			
	伊勢学園	普通生活			
		普通選択	2		
	一志学園	普通	1	3	3
	英心	全日型	1		1
	古川学園	普通	1		
高専	鈴鹿高専	機械工学	3	3	2
		生物応用化学	1	2	1
		電子情報工学	3		2
		材料工学	2	1	2
		電気電子工学	2	2	1
	近大高専	情報システム科		2	1
	鳥羽商船	情報システム科		1	
		商船学科		1	
県外	公立	北海道			1
		愛媛		1	
		静岡県	1		
		愛知県		1	
	私立	東京都		1	
		愛知県	2	1	1
		京都府		1	
		兵庫県	1		2
		岡山県			1
		沖縄県	1	1	1
	海外・就職・その他				
	総人數	143	143	140	143

# 令和6年度三重県立高等学校入学者選抜実施方針

令和6年度三重県立高等学校入学者選抜における基本的な考え方、入学者選抜の方法及び志願できる区域等は次のとおりとする。

## 第1 基本的な考え方

中学生等が目的意識を持って主体的に高等学校を選択し受検できるように、中学生等の多様な関心や目的意識と各高等学校の特色に対応した、わかりやすい制度により実施する。

各高等学校の学科・コースの特色に応じて実施する前期選抜と、実施校共通の学力検査等による後期選抜の2つの選抜を基本とする。

## 第2 前期選抜

### 1 実施

希望する高等学校が、学科・コースの特色に応じた検査内容及び選抜方法により、2月に実施する。

### 2 選抜資料等

#### (1) 「学校の特色」、「選抜において重視する要件」

高等学校は、事前に「学校の特色」、「選抜において重視する要件」を公表する。

#### (2) 選抜資料

次に示す選抜資料は、実施するすべての高等学校が用いることとする。

##### ア 自己推薦書

志願者は、直筆の自己推薦書を提出する。

##### イ 調査書

#### (3) 検査

次に示す検査の中から、高等学校が指定する1つ以上の検査を実施する。

##### ア 面接又は「自己表現」

※ 「自己表現」は、受検者が面接時に、自己の個性や得意なものを自由な形で表現するものとする。

##### イ 作文又は小論文

##### ウ 実技検査

##### エ 学力検査

高等学校が作成する2教科以内の学力検査又は総合問題とする。ただし、県教育委員会が作成する学力検査問題（国語、数学及び英語）を使用することができる。

※ 総合問題は、思考力、判断力、表現力及び中学校までの学習内容を総合的に活用する能力が身に付いているかを見るものとする。

##### オ その他高等学校が指定した検査

### 3 選抜

自己推薦書、調査書等、提出された選抜資料と高等学校が実施する検査の結果を総合し、合格内定者を決定する。

### 4 募集枠

原則として、普通科（コースを除く。）においては入学定員の30%を上限とし、普通科のコース、専門学科及び総合学科においては入学定員の50%を上限とする。ただし、1学年3学級以下の高等学校においては、入学定員の50%を上限とする。

### 第3 後期選抜

#### 1 実施

後期選抜において募集枠を設定する高等学校が、実施校共通の学力検査及び選抜方法を基本に、3月に実施する。

#### 2 選抜資料等

(1) 調査書

(2) 学力検査等

ア 実施教科は、国語、数学、社会、外国語（英語）及び理科の5教科とし、学力検査問題は県教育委員会が作成する。

イ 各高等学校においては、学科・コースごとに、実施教科を減じ、又は免じることができる。

ウ 各高等学校は、学科・コースごとに、面接又は「自己表現」、作文又は小論文、実技検査のいずれか、あるいはいくつかを課すことができる。

エ 学力検査の配点については、各教科50点とする。また、実技検査を実施する場合、その配点は50点とする。

オ 各高等学校は、学科・コースごとに、学力検査実施各教科及び実技検査の配点を傾斜配点とすることができます。

#### 3 選抜

入学者の選抜は、次の方法により行う。

- (1) 調査書の第3学年における「各教科の学習の記録」及び「特別活動の記録」等により、およそ募集定員に当たる数の者を選ぶ。ただし、高等学校によっては、調査書の「各教科の学習の記録」等により選ぶ人数を、募集定員のおよそ110%又は120%にあらかじめ設定することができる。
- (2) 受検者全員について学力検査と実技検査の得点合計（以下「学力検査等得点」という。）により、募集定員のおよそ80%に当たる者を高点者から順次選ぶ。ただし、その中から各高等学校の特色、性格に応じて必要な教科の成績が著しく下位にある者等を、保留者として除外することができる。
- (3) 同一人について、上記(1)及び(2)の両方に含まれている者を合格者とする。ただし、面接又は「自己表現」、作文又は小論文を選抜のための資料として利用する高等学校にあっては、この資料に基づき慎重審議を要すると考えられる者を保留者として除外することができる。
- (4) 上記(3)による合格者の数と募集定員との差のうち、その2分の1に相当する人数は、上記(1)において選ばれた者の中から、学力検査等得点の高点者から順次選び、これを合格者とする。
- (5) 上記(3)及び(4)による合格者の合計数と募集定員との差に当たる者の選抜に当たっては、上記保留者を含めた残りの受検者の中から、「特に重視する選抜資料等」を踏まえ、合格者を決定する。

※ 「特に重視する選抜資料等」は、各高等学校が事前に、学力検査の結果を重視するか、調査書の内容を重視するかなどを明示したものとする。

### 第4 再募集

#### 1 実施対象校

前期選抜等及び後期選抜により合格者が入学定員に満たなかった高等学校において実施する。

## 2 選抜資料等及び選抜

後期選抜に準じて実施する。

なお、入学定員のすべてを前期選抜によって募集する高等学校の学科・コースにあつては、前期選抜に準じて実施する。

## 第5 調査書

- 1 調査書を選抜のための資料として活用するに当たっては、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の優れている点や長所を積極的に評価することとする。
- 2 「各教科の学習の記録」の各学年の「評定」の欄に記載する評価は、目標に準拠した評価とする。

## 第6 志願できる区域

志願者は、「三重県立高等学校通学区域に関する規則」（昭和33年三重県教育委員会規則第13号）に基づき入学志願するものとする。

## 第7 その他

- 1 連携型中高一貫教育に係る選抜については、連携型中高一貫教育を行う高等学校において、連携型中学校からの志願者を対象として実施する。
- 2 特別選抜については、高等学校を中途退学した者等を対象として実施する。
- 3 海外帰国生徒・外国人生徒等に係る特別枠選抜については、海外帰国生徒等の場合は、外国に引き続き1年を超える期間在留し、帰国後3年以内の者、外国人生徒等の場合は、入国後の在日期間が6年以内の者を対象として実施する。
- 4 スポーツ特別枠選抜については、三重県が指定する強化指定運動部のある高等学校の中から、希望する高等学校が、指定されている競技において、各校の定める応募資格を有する者を対象として実施する。
- 5 夜間定時制課程については、再募集においてもなお合格者が入学定員に満たないときは、追加募集を実施する。
- 6 秋期入学者選抜については、北星高等学校の定時制課程及び通信制課程において9月に実施する。
- 7 保護者の転住を伴わない県外からの入学志願については、「保護者の転住を伴わない県外からの入学志願に関する要項」によるものとする。

## ※昨年度の資料です。

〈別表5〉

令和5年度三重県立高等学校入学者選抜で  
スポーツ特別枠選抜を実施する高等学校の「募集競技」「募集学科」一覧

高等学校名	募集競技名		募集学科・コース名（募集人数）
いなべ総合学園	レスリング競技	男子	総合学科（5人以内）
	レスリング競技	女子	総合学科（2人以内）
	バスケットボール競技	女子	総合学科（5人以内）
朝 明	自転車競技	男子	普通科（5人以内）
	レスリング競技	男子	普通科（5人以内）
	ラグビー競技	男子	普通科（5人以内）
四日市四郷	アーチェリー競技	男子	普通科（5人以内）
	アーチェリー競技	女子	普通科（5人以内）
四日市工業	陸上競技	男子	機械科（1人以内）、電子機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、 電子工学科（1人以内）、自動車科（1人以内）
	テニス競技	男子	機械科（1人以内）、電子機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、 物質工学科（1人以内）、自動車科（1人以内）
	バスケットボール競技	男子	機械科（1人以内）、電子機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、 電子工学科（1人以内）、物質工学科（1人以内）
	ハンドボール競技	男子	機械科（1人以内）、電子機械科（1人以内）、電子工学科（1人以内）、 物質工学科（1人以内）、自動車科（1人以内）
	ウェイトリフティング競技	男子	電子機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、電子工学科（1人以内）、 物質工学科（1人以内）、自動車科（1人以内）
	ラグビー競技	男子	機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、電子工学科（1人以内）、 物質工学科（1人以内）、自動車科（1人以内）
四日市中央工業	水泳競技（水球）	男子	機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、化学工学科（1人以内）、 都市工学科（1人以内）、設備システム科（1人以内）
	柔道競技	男子	機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、化学工学科（1人以内）、 都市工学科（1人以内）、設備システム科（1人以内）
	サッカー競技	男子	機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、化学工学科（1人以内）、 都市工学科（1人以内）、設備システム科（1人以内）
	ウェイトリフティング競技	男子	機械科（1人以内）、電気科（1人以内）、化学工学科（1人以内）、 都市工学科（1人以内）、設備システム科（1人以内）
四日市商業	陸上競技	女子	商業科（4人以内）
	テニス競技	女子	商業科（4人以内）
	バスケットボール競技	女子	商業科（4人以内）
	ハンドボール競技	女子	商業科（4人以内）
	空手道競技	女子	商業科（4人以内）
白 子	卓球競技	男子	普通科（4人以内）
	卓球競技	女子	普通科（2人以内）、生活創造科（2人以内）
稻 生	水泳競技（水球）	男子	普通科（3人以内）、体育科（1人以内）
	なぎなた競技	女子	普通科（2人以内）、体育科（1人以内）
龜 山	ウェイトリフティング競技	男子	普通科（1人以内）、システムメディア科（1人以内）、総合生活科（1人以内）
	ウェイトリフティング競技	女子	普通科（1人以内）、システムメディア科（1人以内）、総合生活科（1人以内）
津商業	ソフトボール競技	女子	ビジネス科（5人以内）
	バレーボール競技	女子	ビジネス科（5人以内）
津工業	セーリング競技	男子	機械科（2人以内）、電気科（1人以内）、電子科（1人以内）、建設工学科（1人以内）
	セーリング競技	女子	機械科（2人以内）、電気科（1人以内）、電子科（1人以内）、建設工学科（1人以内）
	バスケットボール競技	男子	機械科（2人以内）、電気科（1人以内）、電子科（1人以内）、建設工学科（1人以内）
名 張	新体操競技	女子	総合学科（5人以内）
	柔道競技	男子	総合学科（5人以内）
	柔道競技	女子	総合学科（5人以内）
松阪工業	バレーボール競技	男子	機械科（1人以内）、電気工学科（1人以内）、工業化学科（1人以内）、 自動車科（1人以内）
宇治山田商業	相撲競技	男子	商業科（3人以内）
鳥 羽	フェンシング競技	女子	総合学科（5人以内）
尾 鷺	水泳競技（競泳）	男子	普通科（2人以内）、情報ビジネス科（2人以内）、システム工学科（1人以内）
	水泳競技（競泳）	女子	普通科（3人以内）、情報ビジネス科（2人以内）

## よくある質問

**Q 1** 各高等学校がどのような検査をするかは、いつわかりますか？

**A 1** 各高等学校の入学定員や検査内容は、7月中旬に公表する予定です。

**Q 2** 前期選抜等の出願時に「入学確約書」を提出するのはなぜですか？

**A 2** 前期選抜等は、合格者として内定した場合に間違いなく入学することを約束して受検していただく選抜だからです。

**Q 3** スポーツ特別枠選抜とはどのような選抜ですか？

**A 3** 県が指定する強化指定運動部がある高等学校が実施します。昨年度は16校42競技で実施しました。実施する学校や検査内容などは、7月中旬に公表する予定です。

**Q 4** 後期選抜の「特に重視する選抜資料等」とはどのようなものですか？

**A 4** 「特に重視する選抜資料等」とは、各高等学校が選抜方法の第3段階において、選抜資料等の中で、学力検査の結果を重視するか、調査書の内容を重視するなどを事前に明示したもので、7月中旬に公表する予定です。

**Q 5** 海外帰国生徒・外国人生徒等に係る特別枠入学者選抜の応募資格を証明する書類とはどのようなものですか？

**A 5** 海外帰国生徒等は海外生活を証明する書類（海外在留証明書等）、外国人生徒等は外国籍を有することを証明する書類（在留カード等）及び小学校入学後から令和6年4月1日までの在日期間に6年以内であることを証明する書類（外国の学校の在籍証明書や成績証明書等）です。また、出入国管理庁に出入（帰）国記録に係る開示請求を行い、出入（帰）国記録の写しを証明書類とすることもできます。その他の書類については、中学校等の先生に早めに相談してください。

**Q 6** 三重県立高等学校のことを知りたいのですが、どうすればよいですか？

**A 6** Webページ「三重県学校ネットワーク」を御覧いただくと、各高等学校の概要をることができます。また、各高等学校では、休日や夏休みなどをを利用して、高校生活入門講座を実施しています。校舎を見学したり、高等学校の学習を体験したりすることができますので、中学校等の先生に相談してください。

### お問い合わせ先

三重県教育委員会事務局  
高校教育課 キャリア教育班

〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
Tel: 059-224-2913 Fax: 059-224-3023

令和6年度(2024年度)入学者用

# 三重県立高等学校をめざすあなたへ

このリーフレットは、三重県立高等学校をめざすみなさんに、入学者選抜について理解していただくために作成したものです。今後の進路を考える際の参考にしてください。

なお、三重県立高等学校入学者選抜のより詳しい内容については、「三重県のWebページ」(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/04/ci400002348.htm>)に掲載します。

三重県教育委員会

## 県立高等学校ってどんなところ？

○高等学校には、全日制、定時制、通信制の3つの課程があります。

### 全日制課程

中学校等と同じように昼間の時間帯に授業を行う課程です。

### 定時制課程

夜間その他特別な時間帯に授業を行う課程です。昼間部も3校に設置されています。

### 通信制課程

自宅で教科書や学習書を使って勉強し、レポートを提出することや、学校でのスクーリング（面接指導）に月1～2回程度出席することにより学習する課程です。

○学科には、大きく分けると、普通科、専門学科、総合学科があります。

### 普通科

学習の中心が普通教科に置かれています。中学校等で学習したことを基礎にして、さらに幅広い一般的な教養を身につけることをねらいとしています。

### 専門学科

それぞれの学科に関する専門的な知識・技術を身につけることをねらいとしています。

職業学科	農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉
------	-------------------------

その他の学科	理数、体育、英語、国際、応用デザイン
--------	--------------------

### 総合学科

普通科・専門学科の両方の性格を持つ学科です。必履修科目以外は、自分の進路希望や興味・関心などに基づいて、科目を選択して学ぶことができます。

## 高等学校、学科を選ぶときのポイント

1. 自分の能力や適性、興味や関心などをふまえて自分自身の可能性について考える。
2. 将来、自分がどのような職業につきたいか、どのような職業についたらよいかを考える。
3. 高等学校で何を学びたいかを考える。
4. 自分の希望する学校や学科の特色、学習内容を調べる。

## 令和6年度入学者選抜の日程（予定）

※令和5年7月に正式に発表されます。

前期選抜等入学願書受付



**前期選抜等** 2月5日・6日

前期選抜・特別選抜、  
連携型中高一貫教育に係る選抜、  
スポーツ特別枠選抜等があります。



前期選抜等合格内定 2月15日

**注意！**  
合格内定となった場合は、後期選  
抜に志願できません。

後期選抜入学願書受付

**後期選抜** 3月11日



**合格者発表** 3月18日

**再募集** 入学定員に満たなかった学校、学  
科・コースについて再募集があり  
ます。

3月22日  
(発表3月26日)

通信制課程の再募集は、  
4月に実施します。

**追加募集** 入学定員に満たなかった夜間定  
時制課程の高等学校で追加募集  
があります。

3月28日  
(発表3月29日)

## 前 期 選 抜

実施を希望する高等学校が、事前に公表する「学校の特色」、「選抜において重視する要件」に基づき、独自の選抜を行います。

### 募 集 枠

各高等学校が学科・コースの特色等をふまえて定めます。

(原則として、普通科は入学定員の30%以内、普通科の中に設置されているコース、専門学科、総合学科等は50%以内です。)

### 選 抜 資 料

自己推薦書

調 査 書

### 検査 内 容

面接または「自己表現」、作文または小論文、実技検査、学力検査等の中から、各高等学校が自校の特色に合わせて指定した検査を実施します。

### 各高等学校が指定

面接または「自己表現」

実技検査

作文または小論文

学力検査

### 選 択 方 法

選抜資料と各高等学校が実施する検査の結果を総合し、各高等学校が合格内定者を決定します。

### 前 期 選 抜 を 受 檢 す る 際 の 注意 点

- 前期選抜等に出願する際には、「入学確約書」の提出が必要です。
- 前期選抜等で合格内定者となった場合、合格者が内定した学校に入学することになるため、後期選抜へは出願できません。
- 前期選抜のみ、または後期選抜のみで、入学定員のすべてを募集する高等学校、学科・コースがあります。

## 後 期 選 抜

後期選抜の募集枠を設定する高等学校が、共通の学力検査及び選抜方法により実施します。

(一部の学校では面接等を実施します。)

### 募 集 枠

入学定員から前期選抜等の合格内定者数を減じた数を募集定員とします。

### 選 抌 資 料

調 査 書

### 検 査 内 容

国語、数学、社会、外国語（英語）、理科の学力検査を実施します。

### 学 力 檢 査

国語  
数学  
社会  
外国語（英語）  
理科

+

学校によっては、面接等を実施します。

面接または「自己表現」

実技検査

作文または小論文

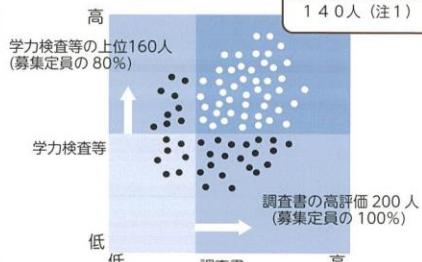
### 選 抌 方 法

県教育委員会の定める選抜方法により、各高等学校が合格者を決定します。

## 後 期 選 抜 の 選 抜 方法

募集定員200人に250人が志願した場合の選抜方法をイメージ化しました。

第1段階での合格者  
140人(注1)



- ① 調査書により募集定員のおよそ100%(注2)に当たる人数の者を選ぶ。
- ② 学力検査等により募集定員のおよそ80%に当たる者を高点者から順次選ぶ。
- ③ ①、②の両方に当てはまる者を合格者とする。

第1段階での合格者  
140人



残りの募集定員の2分の1に相当する人数を、  
第1段階で調査書により選ばれた者の中から、学  
力検査等の高点者から順次選び、合格者とする。

第1段階での合格者  
140人



各高等学校が示す「特に重視する選抜資料等」を  
ふまえ、残りの合格者を決定する。

(注1) 第1段階の合格者を140人とした場合を表している。  
(注2) 調査書により選ぶ人数を、募集人数のおよそ110%又は120%にあらかじめ設定する高等学校、学科・コースがある。